

立教181年

活動方針

天理教学生担当委員会

一 目 次 一

- ◆ 立教 181 年 学生担当委員会活動方針 2
- ◆ 立教 181 年 学生担当委員会行事計画 3
- ◆ 教区学生担当委員会の活動 4
- ◆ 直属学生担当委員会の活動 9
- ◆ 親里における諸行事 13
- ◆ 刊行物・販売物・その他 17

平成30年度 天理教学生担当委員会 活動方針

基本方針

『誠の心で人材の育成につとめよう』

発足40周年重点活動項目

●全教区、全直属での学生層育成者講習会の開催

陽気ぐらし世界を目指すには、教祖の道具衆となるようぼくを、一人でも多く育てなければなりません。まず自らが育成者であると強く意識する教会長、ようぼくを増やすために、全教区、全直属において学生層育成者講習会を開催し、教内全体で育成していく雰囲気を作りましょう。

●学生生徒修養会への動員

学生層の育成は学生との繋がりを持つことに始まります。日頃から声掛けに努め、諸行事を通して継続的な丹精を進めましょう。殊に自らの信仰を掴み、見つめ直す場となる学生生徒修養会への受講を強く勧め、おちばを味わい次代を担うようぼくへと成人してもらおう契機としましょう。

立教181年 学生担当委員会 行事計画

月	学生担当委員会行事
1	おせち学生ひのきしん隊 直前研修会(4) おせち学生ひのきしん隊(4～7) 例会(25) 学生生徒修養会 大学の部 スタッフ事前研修会(27～29) 学生生徒修養会 高校卒業生コース スタッフ事前研修会(27～28)
2	※Happist新規購読推進月間 例会(25) まなびば研修会(26～27)
3	学生生徒修養会 大学の部 スタッフ直前研修会(1～3) 学生生徒修養会 大学の部(3～9) 学生生徒修養会 高校卒業生コース スタッフ直前研修会(9～10) 学生生徒修養会 高校卒業生コース (10～12) 例会(25) 春の学生おちばがえり(28)
4	例会(25)
5	直属担当者懇談会(25) 例会(25) 学生生徒修養会 高校の部 準備会議(26)
6	例会(25) 学生生徒修養会 高校の部 スタッフ事前研修会(27～28)
7	例会(25) こどもおちばがえり学生ひのきしん隊(25～8/5)
8	学生生徒修養会 高校の部 スタッフ直前研修会(7～9) 学生生徒修養会 高校の部(9～15) 例会(25)
9	道の学生ひのきしんDAY 教区担当者懇談会(25) 例会(25)
10	例会(25)
11	学生担当者大会(25) 例会(25) 育成に役立つ研修会(27～28)
12	例会(25)

～教区学生担当委員会の活動～

▼ 「春の学生おぢばがえり」(P.14) への参加 (引率)

春の学生おぢばがえりは、教区学生会において一年の活動の集大成の場であり、新たな一步を踏み出す仕切りの行事です。学生たちの動員活動に理解ある後押しを、また担当委員として一人でも多くの学生たちに声掛けをよろしくお願いします。

▼ 高校生の集い「まなびば」の開催

全国各地で学ぶ、道につながる高校生たちにとって、普段からお道の教えや、信仰の素晴らしさに触れる機会は、決して多いとは言えません。その高校生たちを対象として、同じ地域に住む仲間同士がつながりを深め、お道の教えに触れる場を与えたいとの思いから、各教区主催で開催していただいているのが、高校生の集い「まなびば」です。

本年もガイドブックを作成し、本部からプログラムを提示いたします。各教区とも内容充実を目指し、開催への諸準備を整えていただくことで、少年会を終えた教区管内高校生に、信仰的な環境に接する場を提供します。一人でも多くの高校生に声を掛けていただくとともに、管内教会長を始めとする全ての育成者への継続的な啓蒙も合わせてお願いします。(委員長必携 P.12 参照)

▼ 高校生の集い「まなびば」教区事前研修会の開催

「まなびば」では、スタッフの行動を通し、参加者一人ひとりの心に信仰を伝えることが大きなポイントになります。そのためには、スタッフが開催の趣旨やプログラムの進め方を充分把握することが必要になりますので、教区事前研修会の実施をお願いいたします。

また、教区事前研修会には、必要に応じて本部スタッフの派遣をいたします。

▼ 大学生の集い「Work&Talk」

大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生を対象に行う「Work&Talk」は、彼らの自主的な信仰活動を育むことをねらいとする育成行事です。

この行事は、大学生がブロック単位で交流を深めることのできる貴重な場であり、また、にをいがけやひのきしんなどの実践を共にすることを通して、お道について思うところを存分に語り、互いに刺激し合い信仰を深めることを目的としています。

一人でも多くの大学生層が参加できるよう、ブロック（複数教区合同）単位での実施を進めています。(立教 181 年は北海道・東北・関東・東海・北陸・中国・四国・九

教区学生担当委員会の活動

州ブロックで開催予定)

▼ 例会 (P.16)、学生担当者大会 (P.15)、教区担当者懇談会 (P.15) への出席

本部で行う例会等へは、担当委員長をはじめ、参加対象の方は必ずご出席ください。

▼ 「学生層育成者講習会」の開催

学生層をはじめとする道の後継者の育成は、単にその任をいただいている者たちだけのつとめでは、細やかな丹精はできません。教区の様々な役職にある方々や、管内教会長夫妻をはじめ、大勢の方々にその意義をご理解いただき、連携を深め、育成に携わっていただく必要があります。活動方針に添った育成や「まなびば」への動員・啓蒙の上からも、各教区において「学生層育成者講習会」をご開催ください。

(委員長必携 P.14 参照)

▼ 学生層育成者の各種本部研修会への参加

育成に役立つ研修会 (P.15)

▼ 「教区 育成に役立つ講習会」の開催

昨年から幅広いニーズに応じることができるよう、従来の「HARP 講習会」より名称及び内容を改めました。

本講習会は、開催を希望される各教区のニーズに合わせて、講習会のプログラムを相談のうえ作成し、本部より委員1名とスタッフ若干名が出向いたします。(例:HARPを体験したい・エクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい・トレーナーができるスタッフを増やしたい・学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたいなど)

参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高める上にも有効な講習会です。

▼ 学生会活動への支援

天理教学生会は、教区学生会、直属学生会が同じ組織のもとに活動することとなり、会則第三条「本会は天理教内学生が一手一つに結び合い、自主的な活動により、相互の信仰と学識の向上と親睦をはかり、有為なる用木となる事を目的とする。」を会の主旨とし、「道の成人目標」を定めて活動の指針としています。下記の通り、本部開催行事の参加促進や教区学生会活動への支援など、様々な活動を行っています。

教区学生担当委員会の活動

- ◇ 道の学生成人目標
 - 一、生かされていることに感謝しよう
 - 一、お道の素晴らしさを伝えよう
 - 一、進んで教会につながろう
- ◇ 本部開催行事への参加促進と、その取りまとめ
 - ・「おせち学生ひのきしん隊」(P.13)
 - ・「こどもおちばがえり学生ひのきしん隊」(P.14)
 - ・「学生会委員総会」
 - ・「教区学生リーダーの集い」
- ◇ 教区学生会活動への支援
 - ・「教区学生会総会」
 - ・「道の学生ひのきしんDAY」
 - ・常時活動（清掃・慰問・献血などのひのきしん、徒歩団参、別席団参、おてふり・鳴物練習、教理勉強、教会・会員まわりなど）
- ◇ 学生会リーダーの養成
 - ・教区、ブロックでの「リーダー研修会」
学生会のリーダーは年毎に交代することが常なので、上記の研修以外にもその育成には常時心をお配りくださいますようお願いいたします。

『Happist』の活用 (P.17)

学生層育成のための月刊誌『Happist』は、「明日につながる学生マガジン」として、創刊以来、次のようなねらいをもって編集しています。

- ①お道の教えと情報を正確に伝えるとともに、生き方や考え方を示唆する
- ②教理を求める手掛かりとする
- ③別席を運ぶよう導くための手だてとする
- ④共通の話題を提供し、学生の連帯感をつくり出す
- ⑤教会と学生をつなぐメディアとして活用する

『Happist』は、学生生徒修養会やまなびばをはじめとする親里、教区、直属などでの育成行事への参加呼びかけの上でも重要な役割を担っています。『Happist』を手渡しなどを通して確実に学生の手元に届くよう、積極的な働き掛けをお願いいたします。

※ 『Happist』新規購読推進月間

例年2月を『Happist』の新しい読者開拓の強調月として位置づけ、高校生、大学生、専門学校生はもちろんのこと、中学3年生に『Happist』の購読を強力に呼び掛けていただくようお願いしています。特に教会長・布教所長子弟、及び教会・布教所在住者子弟の中学3年生に対しては、『Happist』2月号を無料配布いたします。その際、名簿を添えて全教区へお届けしますので、以後の購読を勧めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

※ 個人購読（学生宅へ直接発送）受付中

下宿や寮など、親元や所属教会を離れて生活し、『Happist』を直接手渡すことができない学生に対して、個人購読を受け付けています。学生担当委員会より直接本人宛に『Happist』を発送しますので、ぜひご活用ください。また、「TSA web site」からも申込可能です。詳細は、学生担当委員会事務局までお気軽にお尋ねください。

▼ 『別席のすすめ』の活用 (P.17)

17歳になると別席を運ぶことができます。『別席のすすめ』を活用し、教区・支管内の学生生徒に別席を運ぶことを積極的に勧めていただきますようお願いいたします。

▼ 教区管内一れつ会扶育生への丹精

各教区では、教区長が「一れつ会教区委員長」として、また、教区主事が「一れつ会教区委員」として委嘱されており、毎年4月末から5月半ばまでの間に、新扶育生（各地高校生）とその保護者を対象に「扶育決定懇談会」が催されます。

ついては、この扶育決定懇談会に教区学生担当委員、また学生会員が同席し、「学生生徒修養会」や高校生の集い「まなびば」をはじめとする、学生担当委員会及び学生会の諸活動の紹介と参加勧奨を行ってください。同時にその後も引き続いて、行事参加などについて声掛けを積極的にしていただくようお願いいたします。なお、扶育生名簿が一れつ会から教区長宛に4月頃配布されますので、ご活用ください。

上記については、一れつ会教区委員の方と連絡を取り合って、宜しくお取り計らいください。

▼ 婦人会、青年会、少年会との連携

学生生徒たちが将来、教会につながっていくために、継続して育成活動を展開していくことが望まれます。特に婦人会、青年会、少年会との連携の上に、教区として一

教区学生担当委員会の活動

貫した育成体制の確立にご尽力いただくようお願いします。

少年会で育った中学生たちに、高校生の集い「まなびば」や「学生生徒修養会」「春の学生おちばがえり」の案内を行い、少年会とのつながりをすることが大切です。

そして、学生生徒の間に青年会員、女子青年としての自覚を持たせ、行事・活動への参加をすすめ、高校や大学卒業後、お道に、教会につながるよう促します。

各会との情報交換や連携を密にして、着実な育成活動の取り組みをお願いします。

▼ 学生名簿の整理と活用

学生層を育成する上で、教区単位での学生名簿作成が重要です。毎年、春の学生おちばがえりで直属へ配布する参加票を基に、名簿を整理し、学生層の丹精にご活用ください。また、学生担当委員会事務局にて名簿作成用の学生カード（B6判）も無料でお分けしていますので、必要な場合は事前にご連絡の上、取りにお越してください。

なお、希望される教区へ、各行事参加者名簿もお渡ししておりますので、学生担当委員会事務局にご相談ください。

※名簿の管理については、担当者を決めて、名簿の流失や紛失などのないように細心の注意を払ってください。

～直属学生担当委員会の活動～

「学生生徒修養会」(P. 13, 14) を通しての丹精

次代を担う道の後継者育成の上から、学生生徒修養会 大学の部、高校卒業生コース、高校の部への参加を促し、さらにはその期間の前後を利用し、教会へとつながる育成の場を設け、世話取り、丹精をお願いします。教会長子弟、初参加者の増員と共に、回を重ねての受講にも力を入れていただきたく、チラシや DVD などを活用の上、お声かけいただきますようお願いいたします。

それぞれの教会につながる学生たちに対して、学生生徒修養会を一つの軸とした育成をお進めください。

▼ 「春の学生おぢばがえり」(P. 14) への参加 (引率)、

呼びかけ、直属アワーの開催

「春の学生おぢばがえり」は各直属単位の団体参加、教区参加、当日の個人参加が可能です。道の仲間や友人を連れ帰るために実動する学生たちへ積極的な後押しを、また担当委員として、お道につながる学生がもれなくおぢばへ帰ることができるようお声がけをお願いします。

さらに期間中、同じ直属教会につながる学生が一堂に会する「直属アワー」では、直属教会長のお話や、親睦行事、会食などを行い、担当者が顔をつなぎ、学生同士が交流を深め、参加した学生が今後教会につながっていくよう世話取りをお願いします。

▼ 学生ひのきしん隊への参加促進

学生会及び学生担当委員会では、学生ひのきしん隊を組織して、学生たちがおぢばに伏せ込む機会としています。学生ひのきしん隊では、教区、直属からの申し込みが可能です。育成活動の一環として、学生ひのきしん隊への参加の呼びかけをお願いします。

- ◇ おせち学生ひのきしん隊 (P.13)
- ◇ こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊 (P.14)

▼ 「道の学生ひのきしん DAY」への参加促進

教区学生会が中心となる行事ですが、道の学生全体のひのきしんデーとして、直属からも各地域のひのきしん会場へ参加の呼びかけをお願いします。

▼ 「直属学生リーダー講習会」への参加促進

「直属学生リーダー講習会」は、直属学生会活動の活性化を目指して、そのリーダーがおちばに集い、教会につながる事の大切さや、直属での学生会活動の意義を認識する機会として、学生担当委員会のサポートのもと、学生の代表である天理教学生会直属部が中心となって開催しています。各直属からこの講習会へ参加の呼びかけをお願いします。

▼ 例会 (P.16)、学生担当者大会 (P.15)、直属担当者懇談会 (P.15) への出席

本部で行う例会等へは、担当委員長をはじめ、参加対象の方は必ずご出席ください。

▼ 「学生層育成者講習会」の開催

学生層をはじめとする道の後継者の育成は、単にその任をいただいている者たちだけのつとめでは、細やかな丹精はできません。教会長夫妻をはじめ、広く教内の方々にその意義をご理解いただき、連携を深め、育成に携わっていただく必要があります。活動方針に添った育成を徹底する上からも、各直属において「学生層育成者講習会」をご開催ください。(委員長必携 P.15 参照)

▼ 学生層育成者の各種本部研修会への受講

◇ 育成に役立つ研修会 (P.15)

▼ 「直属 育成に役立つ講習会」の開催

昨年から幅広いニーズに応じることができるよう、従来の「HARP 講習会」より名称及び内容を改めました。

本講習会は、開催を希望される各直属のニーズに合わせて、講習会のプログラムを相談のうえ作成し、本部より委員1名とスタッフ若干名が出向いたします。(例:HARPを体験したい・エクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい・トレーナーができるスタッフを増やしたい・学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたいなど)

参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高める上にも有効な講習会です。

『Happist』の活用 (P.17)

学生層育成のための月刊誌『Happist』は、「明日につながる学生マガジン」として、創刊以来、次のようなねらいをもって編集しています。

直属学生担当委員会の活動

- ①お道の教えと情報を正確に伝えるとともに、生き方や考え方を示唆する
- ②教理を求める手掛かりとする
- ③別席を運ぶよう導くための手だてとする
- ④共通の話題を提供し、学生の連帯感をつくり出す
- ⑤教会と学生をつなぐメディアとして活用する

『Happist』は、学生生徒修養会やまなびばをはじめとする親里、教区、直属などでの育成行事への参加呼びかけの上でも重要な役割を担っています。『Happist』を手渡しなどを通して確実に学生の手元に届くよう、積極的な働き掛けをお願いいたします。

※ 『Happist』新規購読推進月間

例年2月を『Happist』の新しい読者開拓の強調月として位置づけ、高校生、大学生、専門学校生はもちろんのこと、中学3年生に『Happist』の購読を強力に呼び掛けていただくようお願いしています。特に教会長・布教所長子弟、及び教会・布教所在住者子弟の中学3年生に対しては、『Happist』2月号を無料配布いたします。その際、名簿を添えて全教区へお届けします。直属へも名簿をお渡ししますので、以後の購読を勧めていただきますよう、よろしくお願ひします。

※ 個人購読（学生宅へ直接発送）受付中

下宿や寮など、親元や所属教会を離れて生活し、『Happist』を直接手渡すことができない学生に対して、個人購読を受け付けています。学生担当委員会より直接本人宛に『Happist』を発送しますので、ぜひご活用ください。また、「TSA web site」からも申込可能です。詳細は、学生担当委員会事務局までお気軽にお尋ねください。

▼ 『別席のすすめ』の活用 (P.17)

17歳になると別席を運ぶことができます。『別席のすすめ』を活用し、教会長・布教所長子女はもとより、ようぼく・信者子女、さらには未信の学生生徒に至るまで、別席を運ぶことを積極的に勧めていただきますようお願いいたします。

▼ 直属教会での幅広い育成活動の展開

直属で開催される育成行事はもちろん、おちばで開催される学生生徒修養会などへの参加呼びかけや世話取り、『Happist』の手渡しを含め、その後の丹精など、直接学生たちに接しながら活動を進めていただきますようお願いいたします。

また、親里管内で学ぶ学生たちに対しても詰所での定期的な会合、定期刊行物の配布など担当者がより身近に接して、教会と離れて暮らす学生たちと教会との距離を縮

めることができるよう、きめ細やかな丹精をお願いします。

▼ 婦人会、青年会、少年会との連携

学生生徒たちが将来、教会につながっていくために、継続して育成活動を展開していくことが望まれます。特に婦人会、青年会、少年会との連携の上に、直属として一貫した育成体制の確立にご尽力いただくようお願いします。

少年会で育った中学生たちに、高校生の集い「まなびば」や「学生生徒修養会」「春の学生おちばがえり」の案内を行い、少年会とのつながりをするのが大切です。

そして、学生生徒の間に青年会員、女子青年としての自覚を持たせ、行事・活動への参加をすすめ、高校や大学卒業後、お道に、教会につながるよう促します。

各会との情報交換や連携を密にして、着実な育成活動の取り組みをお願いします。

▼ 教区活動への参加促進

学生生徒は、地域でのつながりも強く、直属からの丹精はなかなか行き届きにくいものです。さらにこの年代は、友達の影響力が、親や他の誰よりも大きいのが特色です。

地域での学生会活動に参加する意義は大変大きなものがありますので、次の教区主催の各行事への参加にも声がけをお願いします。

◇高校生の集い「まなびば」(P.4)

◇大学生の集い「ワーク&トーク」(P.4)

◇道の学生ひのきしんDAY (立教181年9月頃実施予定)

◇教区学生会総会(随時)

▼ 学生名簿の整理と活用

学生層を育成する上で、教会単位での学生名簿作成が重要です。毎年、春の学生おちばがえりで直属へ配布する参加票を基に、名簿を整理し、学生層の丹精にご活用ください。また、学生担当委員会事務局にて名簿作成用の学生カード(B6判)も無料でお分けしていますので、必要な場合は事前にご連絡の上、取りにお越してください。

なお、希望される直属へ「直属別天理大学生名簿」や各行事参加者名簿もお渡ししておりますので、学生担当委員会事務局にご相談ください。

※名簿の管理については、担当者を決めて、名簿の流失や紛失などのないように細心の注意を払ってください。

～親里における諸行事～

《学生対象》

▼ おせち学生ひのきしん隊 平成30年1月4日(木)～7日(日)

新春、おちばでの恒例行事「お節会」に際して、「学生ひのきしん隊」を結成し、おせち会場内の整理・誘導、接待、洗い方などのひのきしんにあたらせていただき、笑顔と親切に溢れる態度が帰参された方々に喜ばれ、お節会のひのきしん者として大きな役割を担っています。

お節会のひのきしんの他に、大学生が中心となつての親睦行事や、グループ別にその日のひのきしんや普段それぞれが思うことについて語り合い、信仰について考える時間を持ちます。3泊4日という短い期間ですが、同じ道を歩む仲間の存在を感じ、感謝の気持ちを行動に表すことを学ぶ貴重な合宿となります。

参加対象は高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生です。

▼ 学生生徒修養会 大学の部 平成30年3月3日(土)～9日(金)

おちばにお引き寄せいただいた学生たちが、仲間と共に、教理の研鑽・実践を通して信仰の喜びを味わい、自ら世界たすけのようぼくとしての使命感を高めることを目指します。

受講対象は、平成30年1月8日現在、天理大学や天理医療大学を含む、全国各地の大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4年生以上)に在学し、全期間を通して受講できる者です。

プログラムの内容は、教義に関する講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)などで、特ににをいがけに関しては、学生が自発的に取り組めるよう様々な工夫をしています。更に、回を重ねた受講生は月次祭まなびをつとめます。

研修を積んだスタッフが受講生一人ひとりに心を配り、信仰の素晴らしさを感じてもらえるよう、「布教の心」でつとめます。

▼ 学生生徒修養会 高校卒業生コース 平成30年3月10日(土)～12日(月)

高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進む時期に、親神様の御教え、教祖のひながたを学び、同世代の繋がりを深めることを目指します。

受講対象は、天理高等学校第Ⅰ部、第Ⅱ部、天理教校学園高等学校を含む、平成29年度高等学校卒業予定者であり、全期間を通して受講できる者です。

プログラムの内容は、教義に関する講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行

事などで、卒業後、どのような環境においても、おちば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるように工夫しています。

研修を積んだスタッフが受講生一人ひとりに心を配り、「布教の心」でつとめます。

▼ **立教 181 年 春の学生おちばがえり** **平成 30 年 3 月 28 日(水)**

道につながる全ての学生がおちばに帰り集い、真柱様からいただくお言葉を指針として今後の成人を誓い合います。

直属アワーでは、直属教会長のお話や親睦行事、会食などが行われ、同じ直属につながる学生生徒たちが親交を深めます。別席を運ぶこともできます。

27 日前夜祭「春まつり」では、学生による模擬店やステージが行われ、参加した学生全体の交流の場となります。

▼ **こどもおちばがえり学生ひのきしん隊**

平成 30 年 7 月 25 日(水)～8 月 5 日(日)

<前期隊>7 月 25 日～7 月 31 日 <後期隊>7 月 30 日～8 月 5 日

真夏のおちばで開催される「こどもおちばがえり」に学生会では、ちばへの伏せ込みを目的に「学生ひのきしん隊」を結成します。内容は、「わかぎおちばひのきしん」に参加する中学生のカウンセラー、廻廊ひのきしん、おやさとパレード出演、お茶接待などのひのきしんです。帰ってきた子どもたちに喜んでもらおうと精一杯ひのきしんに汗を流すことによって、ひのきしんの喜びを肌で感じることができます。また中学生の世話取りを通して、自らも一歩成人させていただけます。合宿生活では、お互いの親睦を図り、深い友情を築くことができます。

参加対象は高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生です。

▼ **学生生徒修養会 高校の部** **平成 30 年 8 月 9 日(木)～15 日(水)**

全国の高校生がおちばに集い、教祖のおひざもとで教理を学び、合宿生活を通して信仰の喜びを味わい、次代を担うようぼくに育つことを目指します。

受講対象は、平成 30 年 5 月 25 日現在、高等学校に在学し、全期間受講できる者です。なお、親里管内については天理高等学校第 I 部の自宅通学生に限り受講可能です。

プログラムの内容は、教義に関するレクチャー、ひのきしん、おてふり・鳴物練習、レクリエーション、グループワーク、感話大会などで、受講生がお道の信仰に目覚め、その後の歩みの上に役立つように工夫しています。

研修を積んだスタッフが受講生一人ひとりに心を配り、信仰の喜びを感じてもらえ

親里における諸行事

るよう「布教の心」でつとめます。

《担当者対象》

▼ まなびば研修会 平成 30 年 2 月 26 日(月)～27 日(火)

平成 30 年度に開催する高校生の集い「まなびば」のプログラムを、実際に体験を交えながら紹介し、各教区で実施するための研修を行います。

▼ 直属担当者懇談会 平成 30 年 5 月 25 日(金)

「学生生徒修養会 高校の部」動員への意識を高め、また、さまざまな活動についても幅広い意見交換をします。

▼ 教区担当者懇談会 平成 30 年 9 月 25 日(火)

新たに教区委員長に任命戴かれた方はもちろんのこと、教区管内での学生層育成について相談する場を設けます。再任の方も必ずご受講ください。

▼ 学生担当者大会 平成 30 年 11 月 25 日(日)

学生担当委員会の総会とも位置づけられるもので、教区・直属の学生担当委員長を始め学生層育成に携わる者が一堂に会し、学生層育成へのより真剣な取り組みと、積極的な活動推進を誓い合う場として開催します。

▼ 「育成に役立つ研修会」 平成 30 年 11 月 27 日(火)～28 日(水)

一昨年より幅広いニーズに応じることができるよう、従来の「HARP 研修会」より名称及び内容を改め、昨年から一泊二日になりました。

本研修会では、人材育成に役立つプログラムについて、現場のニーズに即して学ぶことができるよう、以下の 3 コースを設ける予定です。

◇ 〈プログラム体験コース〉

本コースでは学生層育成行事で使用しているプログラムの有効性を体験するとともに、その心得を学びます。新たに学生層育成学生層育成に携わる方や、学生とのコミュニケーションの取り方を学びたい方、学生が学修やまなびば、その他学生層育成行事でどんな事を体験しているのか知りたい方におすすめてです。

◇ 〈プログラムサポートコース〉

各種育成行事のプログラムに役立つウォーミングアップや様々なエクササイズ

得をねらいとしています。

直属アワーやその他学生層育成行事、また各会の育成行事（あらきとうりょう入門塾、こかん様に続く会など）のプログラムの1コマに活用できるウォーミングアップやエクササイズの実習を行います。

◇ 〈プログラミングコース〉

本コースでは、育成行事の企画、立案、プログラム作成、運営について学び、行事開催の意識を高めてもらいます。

教区・直属において各種育成行事を企画・運営される方が、充実した育成行事を開催できるよう、企画・立案・プログラム作成・運営について研修を行います。

▼ 例会

毎月25日午後4時より

毎月25日に、本部・学担のスタッフ、各教区・直属の学生担当委員長にお集まりいただき、主に各行事・活動の案内と報告を行うとともに、随時、学生層育成にまつわる様々な話題を提供いたします。

諸行事の要項等、資料もお渡ししますので、委員長各位には必ず出席していただき、万が一都合がつかない場合は、代理の方の出席をお願いします。

～刊行物・販売物・その他～

☆＝道友社販売所でも販売しています。

▼ 定期刊行物

◇ 『学生担当者報』

B5判（月1回発行）

学生担当者に対し、学生層育成の行事・活動に関する情報を提供することを目的に、毎月発行しています。教区・直属学生担当委員会には希望される部数を配布しています。また、TSA website (<http://tsa.tenrikyo.or.jp>) でもご覧いただけます。

◇ 『Happist』 100円 A5判（月1回発行）☆

購読の申し込みは、各教区の学生担当委員会までお願いします。又、学生担当委員会事務局・道友社販売所でも直接販売しています。

親元や所属教会から離れて生活している学生には個人購読（学生に直接発送）も受け付けています。詳細は学生担当委員会事務局にお問い合わせください。

▼ 出版物

◇ 『別席のすすめ』

5円 B5判三つ折（両面カラー）

◇ 『TSA Perfect Guide』 5円 A5判 観音折り（両面カラー）

学生担当委員会及び学生会の年間行事を写真入りでわかりやすく紹介しています。各行事へのお声掛けの上に、また、教会長の方々への啓蒙の上にお役立てください。

◇ 『HARP－確かな理解とその使い方－』 500円 A5判 274頁

HARPとは、学生担当委員会が導入している「グループワーク」の一形態です。当委員会では学生生徒修養会のプログラムなどで活用しております。

本書ではHARPの概要を述べた上で、HARPを取り巻く様々な疑問の声に答える形で、その正しい理解が得られるように解説します。

また、HARPプログラムを実施するに当たっての考え方や注意点、若者への接し方についても触れるとともに、具体的なエクササイズも多数掲載するなど、学生層育成に携わる方へのお薦めの一冊となっています。

◇ はっぴすと単行本『ハートフルすけっち－私の信仰体験－』

150円 A6判 192頁 ☆

学生生徒修養会における感話大会録をまとめたもので、身上のこと、家族のこと、友のこと、信仰的な生き方、考え方などを学修を受講した学生たちが、感じたまま

の言葉で綴る信仰体験集です。学生だけではなく、育成に携わる方々にもぜひご一読いただきたい一冊です。

◇ 『信心事始』 深谷太清 著 300円 A5判 136頁 ☆

『Happist』2008年6月号から2009年5月号の教理コーナーにて連載した「信心事始」の単行本です。未信仰の家庭で育った学生会活動に参加している「歩くん」が教会長子女の「香ちゃん」と教会をたずね、そこで教理や信仰のあり方などを学ぶという物語です。会話形式の文章で、信仰に興味を持ち始めた人向けのわかりやすい内容になっています。

◇ 『そーだ先生の教理セミナー』 早田一郎 著 500円 A5判 122頁

お道の教えを、わかりやすく伝えるための副読本です。お道を信仰する上で欠かせない教理、教語について、3人の登場人物のQ&A形式で説明しています。教理勉強の際のテキストとしてご利用ください。

ビデオ・DVD

◇ 「学生担当委員会行事紹介」 20分 500円

「春の学生おぢばがえり」、「高校生の集い まなびば」、「学生生徒修養会高校の部」、「学生生徒修養会大学の部」の内容を紹介したもので、道友社が作成しました。これらの育成活動の動員や勧誘にご活用ください。ビデオ版、DVD版があります。

◇ 「学生生徒修養会 大学の部 DVD」 10分 貸し出し

立教180年3月の例会において上映した学生生徒修養会大学の部の報告です。

◇ 「学生生徒修養会 高校の部 DVD」 6分 貸し出し

立教180年9月の例会において上映した学生生徒修養会高校の部の報告です。

◇ 「学生生徒修養会 高校の部 PR DVD」 7分 貸し出し

「学生生徒修養会 高校の部」動員の取り組みとして、立教181年春の学生おぢばがえり直属アワーにおいてご覧いただくために制作したものです。様々な場面で学生へのPRにお使いください。

▼ チラシ・募集要項

- ◇ 「学生生徒修養会 大学の部／高校の部 勧誘チラシ」(裏面募集要項)
1枚5円 B5判(片面カラー)

「学生生徒修養会 高校卒業生コース 募集要項」無料配布

学生生徒修養会への勧誘、動員にお役立てください。

※頒布開始日 高校の部勧誘チラシ：3月25日

高校卒業生コース要項：10月25日

大学の部勧誘チラシ：11月25日

- ◇ 「春の学生おぢばがえり」勧誘チラシ

1枚5円 B5判(片面カラー)裏面無地

「立教181年 春の学生おぢばがえり」に向けてのチラシを1枚5円で頒布いたしております。どうぞご活用ください。

【※頒布開始日…10月25日】

販売物

- ◇ CD『希望の花』 100円

「春の学生おぢばがえり」のテーマソング『希望の花』を収録したCDを販売しています。なお、『希望の花』は、Tsa websiteにてダウンロードも可能です。

テーマソング普及の為に活用ください。

- ◇ Happist タオル(全4色) 300円

デザインは4パターン(黒・青・黄・緑)あり、頒価は300円です。『Happist』のロゴを基調にし、首に掛けやすいマフラータイプにしています。育成行事の記念品等でご利用いただき、『Happist』のPRの上にご活用ください。

- ◇ Happist 封筒(第三種用・贈呈用) 第三種用1枚5円・贈呈用1枚10円

『Happist』を送付する際にちょうどよいサイズの封筒を二種類用意しています。定形外郵便を送る時に安く郵送できる第三種用封筒(1枚5円)、淡いピンクを基調とし、右上にリボンをあしらったデザインの贈呈用封筒(1枚10円)をケースに応じて使い分け、ご活用ください。

- ◇ Happist ファイル(A5判) 350円

『Happist』1年分(12冊)をきれいに綴じることができます。保存や収納にお役立てください。

その他

◇ Happist フォトギャラリー

「こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊」「学生生徒修養会 高校の部／大学の部／高校卒業生コース」「おせち学生ひのきしん隊」「春の学生おぢばがえり」など諸行事の写真を学生担当委員会事務局前廊下に展示しています。

なお、購入希望の方はL判 40 円、2 L判 100 円でお頒けいたしますので、下記の URL にアクセスし、イベント ID とパスワードを入力の上、閲覧・購入してください。なお別途送料が必要です。

イベント ID とパスワードは、事務局までお問い合わせください。

また、インターネットでの購入が困難な方は、事務局の窓口にて対応いたしますのでお申し出ください。

[URL] <http://11kao.jp/>

◇ TSA web site <http://tsa.tenrikyo.or.jp>

これまでのホームページを「TSA web site」として、立教 175 年 6 月 1 日にリニューアルしました。学生や学生層育成に関心のある方に必要な情報をタイムリーにお届けできるよう頻繁に更新をする予定です。

web site は学生会のページと学生担当委員会のページに分かれています。学生会のページでは、おぢばで開催の行事案内や報告などを紹介します。また、「Happist」個人購読の申込も可能です。学生担当委員会のページでは、各種提出書類や一部の例会資料、学生担当者報もダウンロードできるようになっています。是非とも web site をご活用ください。



発行日 立教181年1月25日
天理教学生担当委員会
〒632-0035 天理市守目堂町213-4
おやさとやかた真南棟3階
TEL 0743-63-2489 (直通)
0743-63-1511 (代表) 内線5817
FAX 0743-62-5780
WEB <http://tsa.tenrikyo.or.jp>
E-mail tsa@tenrikyo.jp 400部